

ダイワ高格付カナダドル債
オープン
(年1回決算型)

運用報告書（全体版）
第12期

(決算日 2025年5月12日)
(作成対象期間 2024年5月11日～2025年5月12日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、カナダ・ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2013年7月29日～2050年5月10日		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	内外の公社債等および短期金融商品	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			F T S E カナダ国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
8 期末(2021年 5 月10日)	円 10,418	円 0	% 14.8	11,357	% 12.1	% 97.0	% －	百万円 2,097
9 期末(2022年 5 月10日)	10,820	0	3.9	11,605	2.2	96.7	－	1,497
10期末(2023年 5 月10日)	11,056	0	2.2	11,974	3.2	96.6	－	1,210
11期末(2024年 5 月10日)	12,559	0	13.6	13,490	12.7	97.0	－	1,151
12期末(2025年 5 月12日)	12,278	0	△ 2.2	13,211	△ 2.1	97.5	－	999

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) F T S E カナダ国債インデックス（円換算）は、F T S E カナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E カナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：12,559円

期 末：12,278円（分配金0円）

騰落率：△2.2%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

カナダ・ドル建ての債券に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことや債券からの利息収入を得たことはプラス要因となりましたが、カナダ・ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		F T S E カ ナ ダ 国 債 インデックス (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2024年 5 月10日	円 12,559	% －	13,490	% －	% 97.0	% －
5 月末	12,617	0.5	13,545	0.4	97.5	－
6 月末	13,089	4.2	14,129	4.7	97.8	－
7 月末	12,470	△0.7	13,472	△0.1	97.0	－
8 月末	12,258	△2.4	13,271	△1.6	97.6	－
9 月末	12,216	△2.7	13,236	△1.9	97.4	－
10月末	12,644	0.7	13,624	1.0	97.8	－
11月末	12,353	△1.6	13,336	△1.1	97.1	－
12月末	12,643	0.7	13,597	0.8	97.3	－
2025年 1 月末	12,407	△1.2	13,387	△0.8	97.7	－
2 月末	12,147	△3.3	13,159	△2.5	97.6	－
3 月末	12,278	△2.2	13,272	△1.6	96.7	－
4 月末	12,079	△3.8	13,005	△3.6	97.2	－
(期末) 2025年 5 月12日	12,278	△2.2	13,211	△2.1	97.5	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.5.11～2025.5.12)

■カナダ債券市況

カナダ債券市場の金利は低下しました。

当作成期首より、インフレ率の落ち着きなどを背景にカナダ銀行（中央銀行）が利下げを継続したことや、失業率の上昇など軟調な経済指標が見られたことなどから、カナダの金利は低下しました。2024年10月以降は、利下げの継続などから短中期の金利低下傾向は続いたものの、米国金利が上昇したことなどを背景に、長期の金利はおおむね横ばいで推移しました。

■為替相場

カナダ・ドルの対円為替レートは下落しました。

日銀が利上げを行ってきた一方で、カナダ銀行が利下げを継続したことから、カナダ・ドルは対円で下落しました。また、トランプ米国政権により発表された関税政策への懸念などを背景に円高が進行したことも、カナダ・ドルの下落要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

主としてカナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2024.5.11～2025.5.12)

当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」を高位に組み入れました。

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。

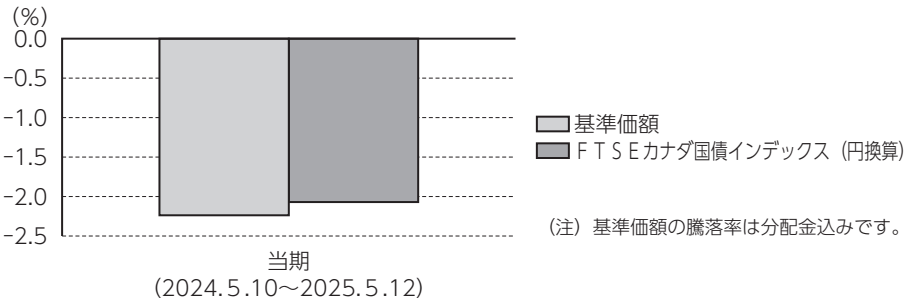
債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して州債や事業債など国債以外の債券にも投資しているという特徴があります。参考指数はカナダの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年5月11日 ～2025年5月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	－
対基準価額比率	（％）	－
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	2,761

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

主としてカナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.5.11～2025.5.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	173円	1.383%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,471円です。
（投 信 会 社）	(69)	(0.554)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(97)	(0.774)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(7)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.026	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	176	1.409	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

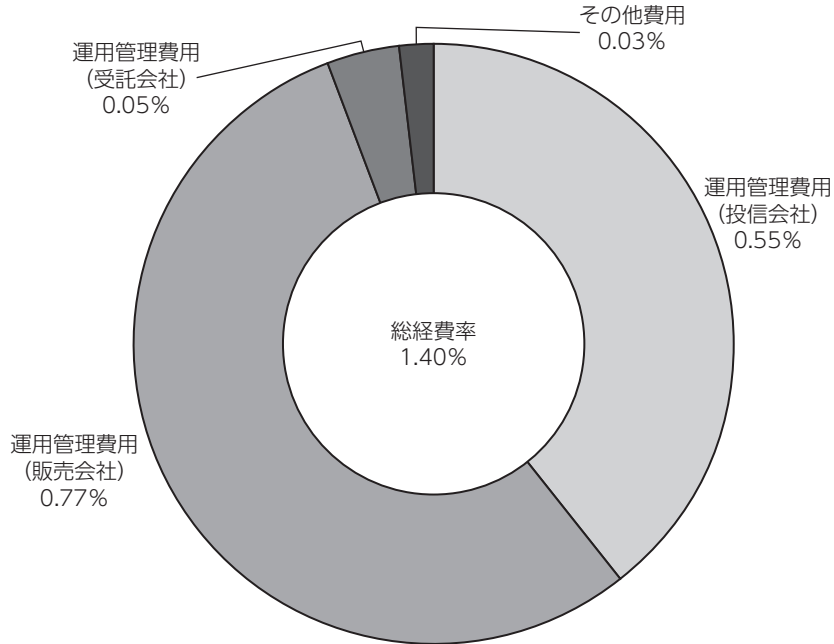
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（年1回決算型）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2024年5月11日から2025年5月12日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ高格付カナダドル債 マザーファンド	7,829	19,827	63,935	161,202

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	評 価 額
	□ 数	□ 数	
	千□	千□	千円
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	453,989	397,883	993,116

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年5月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	993,116	98.5
コール・ローン等、その他	15,064	1.5
投資信託財産総額	1,008,180	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月12日における邦貨換算レートは、1カナダ・ドル＝104.71円です。

(注3) ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（63,218,926千円）の投資信託財産総額（63,226,250千円）に対する比率は、100.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年5月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,008,180,669円
コール・ローン等	13,811,494
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド(評価額)	993,116,210
未収入金	1,252,965
(B) 負債	8,368,475
未払解約金	1,161,116
未払信託報酬	7,164,197
その他未払費用	43,162
(C) 純資産総額(A－B)	999,812,194
元本	814,289,869
次期繰越損益金	185,522,325
(D) 受益権総口数	814,289,869□
1万口当り基準価額(C／D)	12,278円

*期首における元本額は916,549,093円、当作成期間中における追加設定元本額は33,814,793円、同解約元本額は136,074,017円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は12,278円です。

■損益の状況

当期 自2024年5月11日 至2025年5月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	31,983円
受取利息	31,983
(B) 有価証券売買損益	△ 7,672,859
売買益	2,767,176
売買損	△ 10,440,035
(C) 信託報酬等	△ 15,165,061
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 22,805,937
(E) 前期繰越損益金	184,929,280
(F) 追加信託差損益金	23,398,982
(配当等相当額)	(39,946,540)
(売買損益相当額)	(△ 16,547,558)
(G) 合計(D＋E＋F)	185,522,325
次期繰越損益金(G)	185,522,325
追加信託差損益金	23,398,982
(配当等相当額)	(39,946,540)
(売買損益相当額)	(△ 16,547,558)
分配準備積立金	184,930,120
繰越損益金	△ 22,806,777

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	39,946,540
(d) 分配準備積立金	184,930,120
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	224,876,660
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	224,876,660
(h) 受益権総口数	814,289,869口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

運用報告書 第44期（決算日 2025年5月12日）

（作成対象期間 2024年11月12日～2025年5月12日）

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

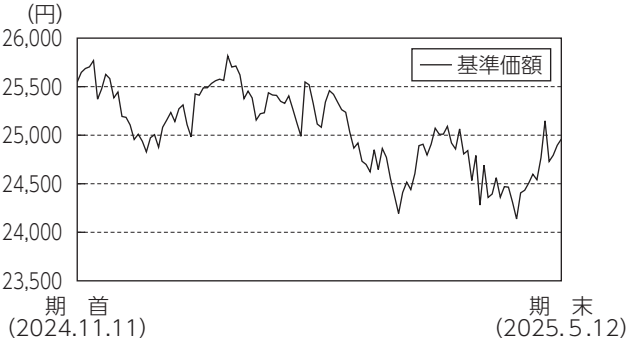
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等および短期金融商品
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		F T S E カナダ 国債 インデックス (円換算)		社 公 債 入 率	債 先 比	券 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	%	%	%
(期首)2024年11月11日	25,548	—	24,994	—	97.9	—	—
11月末	24,956	△2.3	24,356	△2.5	97.8	—	—
12月末	25,577	0.1	24,833	△0.6	97.9	—	—
2025年1月末	25,126	△1.7	24,450	△2.2	98.4	—	—
2月末	24,623	△3.6	24,034	△3.8	98.3	—	—
3月末	24,920	△2.5	24,240	△3.0	97.4	—	—
4月末	24,541	△3.9	23,752	△5.0	97.9	—	—
(期末)2025年5月12日	24,960	△2.3	24,128	△3.5	98.1	—	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) F T S E カナダ国債インデックス (円換算) は、F T S E カナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E カナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：25,548円 期末：24,960円 騰落率：△2.3%
【基準価額の主な変動要因】

カナダ・ドル建ての債券に投資した結果、金利が低下 (債券価格は上昇) したことや債券からの利息収入を得たことはプラス要因となりましたが、カナダ・ドルが対円で下落 (円高) したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

- カナダ債券市場
カナダ債券市場の金利は短期を中心に低下しました。
カナダ銀行 (中央銀行) が利下げを継続したことや、失業率の上昇など軟調な経済指標が見られたことなどから、カナダの金利は短期を中心に低下しました。
- 為替相場
カナダ・ドルの対円為替レートは下落しました。
日銀の利上げや米国による関税政策への懸念などを背景に円高が進行したことから、カナダ・ドルは対円で下落しました。また、カナダ銀行が利下げを継続したことも、カナダ・ドルの下落要因となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。
債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。
為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。
当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して州債や事業債など国債以外の債券にも投資しているという特徴があります。参考指数はカナダの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	2
（保管費用）	(2)
（その他）	(0)
合 計	2

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2024年11月12日から2025年5月12日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル －	千カナダ・ドル 1,928 (ー)
		地方債証券	－	12,895 (ー)
		特殊債券	－	14,018 (ー)
		社債券	－	11,825 (ー)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年11月12日から2025年5月12日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
		CANADA HOUSING TRUST（カナダ） 1.9% 2031/3/15			1,474,243
		Province of Quebec Canada（カナダ） 2.5% 2026/9/1			1,272,009
		Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad（カナダ） 3.3% 2025/5/26			548,904
		NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING（アメリカ） 2% 2028/4/17			504,981
		NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING（アメリカ） 5.25% 2026/6/30			213,289
		CANADIAN GOVERNMENT BOND（カナダ） 2% 2028/6/1			207,377
		ONTARIO PROVINCE（カナダ） 2.4% 2026/6/2			106,221

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	当 期		未 期					
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
カナダ	千カナダ・ドル 601,000	千カナダ・ドル 592,190	千円 62,008,263	% 98.1	% —	% 46.2	% 23.7	% 28.2

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	末 価		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
カナダ				%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	2.0000	8,000	7,866	823,682	2028/06/01	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	2.2500	10,000	9,843	1,030,691	2029/06/01	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	1.5000	5,000	4,576	479,152	2031/12/01	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	2.0000	46,000	43,146	4,517,834	2032/06/01	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	2.7500	20,000	19,572	2,049,426	2033/06/01	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	15,000	15,188	1,590,408	2033/12/01	
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.0000	20,000	19,814	2,074,786	2034/06/01	
	Province of Quebec Canada	地 方 債 証 券	2.5000	15,000	14,990	1,569,691	2026/09/01	
	Province of Quebec Canada	地 方 債 証 券	1.9000	35,000	33,017	3,457,236	2030/09/01	
	PROVINCE OF QUEBEC CANADA	地 方 債 証 券	3.6000	16,000	15,983	1,673,651	2033/09/01	
	ONTARIO PROVINCE	地 方 債 証 券	2.9000	42,000	42,208	4,419,633	2028/06/02	
	ONTARIO PROVINCE	地 方 債 証 券	2.2500	10,000	9,388	983,027	2031/12/02	
	ONTARIO PROVINCE	地 方 債 証 券	3.7500	45,000	46,021	4,818,864	2032/06/02	
	ONTARIO PROVINCE	地 方 債 証 券	3.6500	20,000	20,126	2,107,456	2033/06/02	
	Province of Alberta Canada	地 方 債 証 券	2.0500	10,000	9,547	999,697	2030/06/01	
	PROVINCE OF ALBERTA CANADA	地 方 債 証 券	1.6500	28,000	25,628	2,683,579	2031/06/01	
	CANADA HOUSING TRUST	特 殊 債 券	1.9000	18,000	16,900	1,769,657	2031/03/15	
	TORONTO-DOMINION BANK/THE	社 債 券	4.5160	40,000	41,143	4,308,146	2027/01/29	
	METROPOLITAN LIFE GLOBAL FUNDING I	社 債 券	5.1800	30,000	30,687	3,213,267	2026/06/15	
	METROPOLITAN LIFE GLOBAL FUNDING I	社 債 券	3.3940	25,000	24,858	2,602,933	2030/04/09	
	NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING	社 債 券	2.0000	50,000	48,350	5,062,728	2028/04/17	
	NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING	社 債 券	5.2500	8,000	8,203	858,940	2026/06/30	
	Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad	社 債 券	3.3000	45,000	45,008	4,712,845	2025/05/26	
	BANK OF MONTREAL	社 債 券	3.1900	10,000	10,026	1,049,885	2028/03/01	
	BANK OF MONTREAL	社 債 券	2.7000	15,000	14,968	1,567,383	2026/12/09	
ROYAL BANK OF CANADA	社 債 券	4.1090	15,000	15,124	1,583,654	2025/12/22		
合 計	銘 柄 数 金 額	26銘柄			601,000	592,190	62,008,263	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年5月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	62,008,263	98.1
コール・ローン等、その他	1,217,987	1.9
投資信託財産総額	63,226,250	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月12日における邦貨換算レートは、1カナダ・ドル＝104.71円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（63,218,926千円）の投資信託財産総額（63,226,250千円）に対する比率は、100.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年5月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	63,313,238,388円
コール・ローン等	439,155,560
公社債(評価額)	62,008,263,067
未収入金	87,000,000
未収利息	659,745,713
差入委託証拠金	119,074,048
(B) 負債	135,569,368
未払金	87,227,618
未払解約金	48,341,750
(C) 純資産総額(A－B)	63,177,669,020
元本	25,311,237,782
次期繰越損益金	37,866,431,238
(D) 受益権総口数	25,311,237,782口
1万口当り基準価額(C／D)	24,960円

* 期首における元本額は27,522,206,317円、当作成期間中における追加設定元本額は33,557,094円、同解約元本額は2,244,525,629円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ世界債券ファンドM（FOFs用）（適格機関投資家専用） 115,621,314円
 ダイワ高格付カナダドル債オープン（年1回決算型） 397,883,097円
 ダイワ世界債券ファンドVA（適格機関投資家専用） 5,480,519円
 ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型） 1,110,911,804円
 ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型） 23,764,024円
 ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型） 3,180,332円
 ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型） 19,541,800,417円
 ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型） 4,112,596,275円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は24,960円です。

■損益の状況

当期 自2024年11月12日 至2025年5月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	964,880,172円
受取利息	963,515,884
その他収益金	1,364,288
(B) 有価証券売買損益	△ 2,531,560,081
売買益	779,599,521
売買損	△ 3,311,159,602
(C) その他費用	△ 6,440,764
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 1,573,120,673
(E) 前期繰越損益金	42,790,846,314
(F) 解約差損益金	△ 3,402,678,203
(G) 追加信託差損益金	51,383,800
(H) 合計(D + E + F + G)	37,866,431,238
次期繰越損益金(H)	37,866,431,238

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。